

南高図書館だより

2025 年 9 月号
浦和南高校図書館

図書委員のおすすめ本

NO
IMAGE

『この世界からは出ていくけれど』

キムチョヨプ／著 カンバンファ、ユンジョン／訳 早川書房

この本は、韓国でベストセラーを受賞したSF小説『わたしたちが光の速さで進めないなら』の続編短編集です。どうしても三本目の腕があるようにしか感じない女性(ローラ)や目が見えないのにダンスを習う少女(マリのダンス)が登場します。そんな普通とは言えない彼女たちの世界に対する認識の違いを詩的な文章で私たちにやさしく届けてくれます。どこか懐かしく、あたたかい気持ちにしてくれる作品です。この機会にぜひ読んでみてください。

『かがみの孤城』

辻村深月／著 ポプラ社

学校で居場所をなくした中学生のところが鏡の中の城に導かれ、同じような境遇の仲間と出会う物語です。少しずつ心を開いていく登場人物たちの姿が見どころで、「あなたのままで大丈夫」と背中を押してくれるような一冊です。悩みや不安を抱えている人にぜひ読んでほしいです。



『走れメロス』

太宰治／著 新潮社(新潮文庫)

『走れメロス』は、太宰治の短編小説で、友情と信念をテーマにした物語です。主人公メロスは、大切な友人セリヌンティウスを救うため、王の命令で命を懸けた約束を果たすべく走り続けます。王に捕らえられ、死刑を宣告されたメロスは、友人を助けるため、3日後に戻る約束をし、信じられないほどの速さで走り抜けます。最終的にメロスは約束通り戻り、友情と人間の誠実さが勝利をもたらします。

この本は友情の大切さを再認識させられる作品です。ぜひ読んでみてください！

図書館からのお知らせ

◆さいたま市立高校・中等教育学校・さいたま市図書館コラボ企画◆

第8回市立高校POPバトル開催中

市立高校3校と中等教育学校1校の生徒が選んだおすすめの本12冊を、高校生のオリジナルPOPとともに展示しています。

もっとも本を読みたいと感じさせたPOPはどれか？
ぜひ投票して、応援してください！



展示期間 令和7年9月1日(月)～9月30日(火)まで

展示場所 図書館内、2階中央廊下

投票方法 展示場所に設置された台紙にシールを貼って投票できます
また、さいたま市図書館ウェブサイト※上からも投票できます

※ <https://www.lib.city.saitama.jp/contents?3&pid=8657>



投票ステージはこちら！

あなたも挑戦！「図書館たほいや」クイズ ～次のお題の正解は？～

お題：【ちりのみ】 出典：『広辞苑 第七版』(岩波書店)

- 1, チリの木に成る果実。
- 2, 赤唐辛子の粉末を調合した調味料。メキシコ料理に用いる。
- 3, 塵のようにほかない身。

正解以外は嘘の答えです。どれが正解かわかりますか？ 正解は次頁にあります➡

「図書館たほいや」キットあります。やってみたい人は、4人以上のメンバーを集めて図書館へ来てください。15分くらいでワンゲームできます。
昼休みより放課後のほうがゆっくり遊べてオススメです。



新着図書PICKUP

7・8月に新しく入った本

知識の本

本が読めない33歳が国語の教科書を読む やまなし・少年の日の思い出・山月記・枕草子
かまど、みくのしん／著 大和書房

前作『本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む』で生まれて初めて本を読んだ男、みくのしん。「本を読んだことがない」は卒業したけど、「本が読める」になったわけじゃない。彼の次なる挑戦は、小中高の国語の教科書！ 宮沢賢治「やまなし」、ヘルマン・ヘッセ「少年の日の思い出」、中島敦「山月記」、清少納言「枕草子」の4冊を、友人と楽しく会話しながら読む。

「性格が悪い」とはどういうことか ダークサイドの心理学

小塩真司／著 筑摩書房(ちくま新書)

ダークな性格として典型的なマキャベリアニズム、サイコパシー、ナルシズム、サディズムの特性、仕事の相性、異性との付き合い方等を分析し、何が問題かに迫る。「悪い」性格が社会に残っていることには理由があり、どんな人にもダークな面はあることも明らかにする。

僕らは戦争を知らない 世界中の不条理をなくすためにキミができること

小泉悠／監修 Gakken

なぜ戦争は起こるの？ 日本も昔は戦争をしていたの？ 争いのない世界のために何ができるの？ 戦争にまつわるギモンをやさしい言葉と図で解説する。日本の中学生とウクライナからの転校生を描いたマンガも収録。

プレゼン上手の一生使える資料作成入門 説得力が劇的アップ

岸啓介／著 インプレス

超シンプルなのに、「通る資料」に大変身！ 効率的な作業で、より深くわかりやすい資料を作成するための「最低限」の知識を、ビフォー・アフター形式でビジュアルに解説。

デザインを重視するなら、同じく新着図書の『見やすい資料の一生使えるデザイン入門 プレゼン資料が劇的改善』(森重湧太／著 インプレス)をどうぞ。見づらいプレゼン資料が今スグ改善する、「最低限」のデザイン知識を、ビフォー・アフター形式でビジュアルに解説してくれます。

コーヒー2050年問題

武田淳／著 東京書籍

地球温暖化が将来コーヒーの産地にどのような影響を与えるか分析した結果、「2050年までに世界中のコーヒーの適作地域が半減する」という結論が出た。気候変動により、新たな適作地域が生まれる可能性もあるが、そこでコーヒー農家に転身する人間がどれほどいるだろうか。この本では、コーヒー産地の視点から「コーヒー2050年問題」を考える。コーヒーの生産現場では何が起きているのか、この危機に対してどのような対応策が取られつつあるのか。世界第4位のコーヒー消費国である日本にとっても他人事ではない。われわれ消費者にできることは。

パワーアップ吹奏楽！ からだの使い方

高垣智／著 ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス出版部

からだを知ると、演奏はもっとうまくなる。自らをしっかりと管理して、個人で吹奏楽を上達させるための知識と方法論を解説。ウォームアップとクールダウン、練習と休息、けがや病気なども取り上げる。

小説・文学

翠雨の人

伊与原新／著 新潮社

雨はなぜ降るのだろう。幼い頃に抱いた素朴な疑問から理系の道を選んだ勝子は、昭和16年4月、開校したばかりの帝国女子理学専門学校へ入学した。彼女は戦時下、中央气象台で地球化学の研究に取り組みながら科学と戦争の関係を自身に問い続け、戦後、ビキニ水爆実験による放射能汚染の実態究明に打ち込んでいく。女性科学者の先駆けである猿橋勝子の生涯を描く。

ビスケット

キムソンミ／著 矢島暁子／訳 飛鳥新社

存在感を失い、誰にも気づかれずに生きる“ビスケット”。壊れやすく、かすかな音や気配だけを残して、ひっそりと息をひそめている彼らを、過敏な聴覚を使って見つけられる少年ジェソンは、仲間たちと救出作戦を開始するが…。第1回ウィズダムハウス子ども青少年ファンタジー文学賞 青少年部門大賞受賞。

ミス・サンシャイン

吉田修一／著 文藝春秋(文春文庫)

大学院生の岡田一心は、伝説の映画女優「和楽京子」こと石田鈴の自宅の荷物整理の手伝いをすることになる。長崎で被爆、戦後に魅力的な容姿と演技力で女優として一時代を築き、引退した今なお美しい鈴さん。彼女の胸に秘められていた波乱万丈な過去と、現在の一心の切ない恋、時代を行き来しながら物語が紡がれる。島清恋愛文学賞受賞の長編作品。



「高校生活の処方箋」・「探究に役立つ本」を展示中

テーマに合った本を館内から選んで展示しています。

- ★「高校生活の処方箋」
- ・不安を解消する
- ・自分にやさしくする生き方
- ・悩みが軽くなるヒント
- ・心と体の切りかえ術

- ★「探究に役立つ本」
- ・調べ方
- ・プレゼン資料のデザイン
- ・論文の書き方
- ・テーマの決め方

